

社会科学習指導案

指導者 海田町立海田西中学校

教諭 中坊 浩之

- 1 日時 平成29年12月6日(水) 第5校時
- 2 学年 第3学年2組(男子22名 女子17名 39名)
- 3 場所 海田西中学校 3年2組教室
- 4 単元名 地方自治と私たち
- 5 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領第3学年公民的分野の(3)「私たちと政治」の(イ)「民主政治と政治参加」にある地方自治について、基本的な考え方について理解させる内容である。

地方公共団体の政治の仕組みや働きについて理解させるとともに、住民の権利や義務と関連させて、生徒が地域づくりにどのように主体的に参画していくか、住民としての自治意識の基礎を育てることが主なねらいである。

生徒が住む身近な例を用いることで、地方自治について基本事項を学習した後、生徒自らが地域の課題を発見し、その解決のための方策を考え、街づくりに主体的に参画できるのかを考えさせることができる。よって生徒の自治意識を育てるために適した題材である。

(2) 生徒観

本学年の生徒は、本年度4月に実施した「H29 全国学力調査(東京書籍版)」では、次の通り全国平均を下回り課題がある。活用は、概ね良好であったが、基本的な理解力に大きな課題がある。

A 項目	全国得点	本校得点	B 能力	全国得点	本校得点
全体	53.7	48.4	認知・理解力	58.8	45.8
基礎	54.6	46.0	思考・分析力	49.8	46.3
活用	52.6	51.1	応用・判断力	53.9	54.4
			説明・表現力	51.4	48.0

授業の場面で、社会科の基本的な用語など定着に課題があり、特に男女の差が大きい。これは、学習する習慣が充分身につけていない生徒が多いことが要因である。また、グラフや資料を読み、それらに関連付けて分析し、文章で表現することや説明することに苦手意識を持つ生徒が多い。授業中の発言や指名に対する答え方も、必ず周囲の生徒に答を聞くなど多く見られ、自分に自信が持てないことも課題である。

(3) 指導観

本単元を指導するにあたり、地方自治の仕組みや働きなど基本的事項について学んだことを、X市の市長選挙に立候補し、理想のまちづくりの政策を考案する活動を通して、政治への関心を高め、主権者として積極的に政治に参加する態度を身につけさせたい。

また、生徒の課題であるデータを分析し、既習事項を使い説明していく能力を身につけるため、公約の形で自分の意見をまとめ、根拠を明らかにしながら、相手に伝えることができるよう、グループで意見を交流し、発表する場面を設定した。

模擬的な市長選挙を通して、身近な地域のまちづくりに積極的に参画する態度と意欲を育てたい。

6 単元の目標

- 自分たちが住む地域社会への関心を高めさせ、住民の一人として、地方自治の発展に寄与しようとする自治意識の基礎を身につける。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- 地方自治が直接請求という直接民主制の方法を導入している理由について、国と地方公共団体の比較を通して多面的・多角的に考察させるとともに、主権者としての政治参加の在り方について考える。 【社会的な思考・判断・表現】
- 地方自治について、海田町を例に調べ学習を通して具体的に理解させるとともに、街づくりの課題や未来への提言の発表や討論などを通して考えを深める。 【資料活用の技能】
- 住民自治を基本とする地方自治の考え方や仕組み、地方財政の仕組みについて理解する。 【社会的事象についての知識・理解】

7 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<p>①身近な地方公共団体の政治について意欲的に調べたり、地域住民の一人としてその在り方について考えたりしている。</p> <p>②自分たちが住む地域の政治に関心を持ち、自分たちにできることを意欲的に考え、提案したり、政治参加の方法について考えたりしている。</p>	<p>①住民自治や地方分権の考え方について、既習事項を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>②自分たちが住む地域の特色や課題について調べ、解決のための方法について話し合い、自分の考えをレポートや討論での発言、提言などの形で表現している。</p>	<p>①地域の課題や地方財政の変化について、資料を収集・選択し、複数の資料を比較して読み取ったり、その結果を図表などにまとめたりしている。</p> <p>②地域のまちづくりについて、「私たちの政治参加」の手法や、地理的分野や歴史的分野での調査学習で習得した手法を参考に、適切な手段を選択して調査・分析し、考えたことや提言を分かりやすく表現している。</p>	<p>①地方自治の考え方と仕組み、地方財政の仕組みや課題について理解し、その知識を身につけている。</p> <p>②住民自治を基本とする地方自治の考え方に基づいて、住民の権利や役割に気づき、その内容を理解している。</p>

8 本単元において育成したい資質・能力

本校で育成したい資質・能力は、①知識・情報 ②主体性 ③課題発見・解決力 ④チャレンジ精神 ⑤自らへの自信の5つである。そのうち、本単元で重点的に指導したい資質・能力は次の3つである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
主体性	資料・データから積極的に公約を考えようとしている。
課題発見・解決力	資料・データから、X市の課題を見だし、その解決策を考えている。
自らへの自信	資料・データを読み取り、効率・公正の視点から、説得力のある公約を作成している。

9 単元の学習指導計画（全6時間）

次	時	学習内容	評価				
			関意	思判	資活	知理	(・) 評価規準 (評価方法) (★) 資質・能力の評価 (評価方法)
一	1	課題の設定 1 私たちの生活と地方自治 ・地方自治とは ・国と地方公共団体の役割 ・地方分権	◎			○	・身近な地域社会である海田町について関心を持ち、地域の特徴や歴史などすすんで考え、発表できる。(行動観察・発表) ・地方公共団体の仕事の内容がわかる。(ワークシート・発表) ★資料・データから積極的に公約を考えようとしている。(行動観察・発表)
		2 地方自治の仕組み ・地方議会 ・首長 ・直接請求権				◎	・地方自治がどのような仕組みで行われているかわかる。(ワークシート)
二	3	情報の収集 3 地方財政の仕組みと課題 ・地方財政の仕組み ・地方公共団体の財政健全化		◎		○	・地方公共団体のお金がどのように使われているかわかる。(ワークシート) ・地方公共団体の財政の課題を考え、説明することができる。(ワークシート・発表)
		整理・分析 4 住民参加の拡大と私たち ・住民の声を生かす ・住民運動の広がり ・地域社会と私たち				◎	・地域における住民参加がどのように行われているかまとめることができる。(ワークシート)

次	時	学習内容	評価				
			関 意	思 判	資 活	知 理	(・) 評価規準 (評価方法) (★) 資質・能力の評価 (評価方法)
四	5	まとめ・創造・表現 5 私たちの政治参加 地方自治と私たち－X市の市 長選挙に立候補しよう			◎		・市の課題の解決や将来の展望について、資料を活用し、効率と公正の観点をふまえ、多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにしながら、主張する態度が見られる。 (ワークシート, 発表) ★資料・データから、X市の課題を見いだし、その解決策を考えている。 (ワークシート, 発表) ★資料・データを読み取り、効率・公正の視点から、説得力のある公約を作成している。 (ワークシート, 発表)
			★「深い学び」を実現した生徒の具体 これまで学習した知識や資料を活用し、意見を次のような公約の形にまとめることができる 私は、「_____なまち」を創るために、「_____」を実施します。 その理由は、「_____」だからです。				
	6	振り返り この章の学習を確認しよう	◎				・政治に対する関心を深め、今後、主権者として積極的に政治に関わろうとする態度が見られる。(ワークシート)

10 本時の学習

(1) 本時の目標

市長選挙に立候補し、理想のまちづくりのための政策を公約の形にまとめることができる。

(2) 観点別評価規準

◎ 資料活用の技能

資料・データを活用し、X市の課題とその解決策を考えることができる。

(3) 準備物

- ・ワークシート
- ・プロジェクタ
- ・タブレット

(4) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する状況」と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (○) 教科の指導事項 (★) 資質・能力 (評価方法)
導入 10分	1 中学生の住民参加 2 本時のねらいを確認する。	◇地方自治は「民主主義の学校」の意味を振り返らせ地方自治は自分にとって身近な政治の場であることに気づかせる。 ◇10年後にX市の市長選挙に立候補したという設定であることを説明する。	
展開 35分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> X市の課題から、解決策を考え、公約発表できる。 </div> 3 10年前と比較しながら現在のX市の課題をとらえる。 4 市長に立候補するにあたって、X市をどのようなまちにしたいか、「X市の主な課題」をふまえ、箇条書きで意見をまとめる。 5 各政策のポイントを読み取らせる。 6 意見を公約の形にまとめる。	◆活動の手順を黒板に提示し、作業がしやすいようにする。 ◇X市の課題を箇条書きにまとめる。 ◇「もし、あなたが市長に当選したら、X市をどのようなまちにしたいか」をまとめさせる。 ◆予算額が20億円に収まるよう留意させ、まとめた課題と、どのように関連させて政策を考えるかを例示する。 ◇これまで学習した知識や資料を活用させ、意見を次のような公約の形にまとめさせるよう確認する。 「私は、「_____なまち」を創るために、「_____」を実施します。 その理由は、「_____」だからです。」	○市の課題の解決や将来の展望について、資料を活用し、効率と公正の観点をつまみ、多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにしながら、主張する態度が見られる。 (ワークシート、発表) ★資料・データから、X市の課題を見だし、その解決策を考えている。 (ワークシート、発表) ★資料・データを読み取り、効率・公正の視点から、説得力のある公約を作成している。 (ワークシート、発表)

	7 グループで、公約を 発表し意見交換す る。	◇「効率と公正」の視点をふまえて検討さ せる。 「協働」の場面での生徒の言葉 私は、「_____なまち」を創るために、 「_____」を実施します。 その理由は、「_____」だからです。	
	8 グループで公約を 一つ選び発表する。		
ま と め 5 分	9 本時のまとめと振 り返り	◇どのグループの公約がもっとも説得力 があったかを考えさせ、理由と合わせて 振り返りをノートに書く。 ★めざす生徒の姿 私は、〇班の公約が、一番説得力があったと思います。それは、20億円の予算を無駄なく 使い、より多くの市民が納得できる理由があったからです。	

(5) 板書計画

【本時の目標】 X市の課題から、解決策を考え、公約発表できる。									
1 公約をたてる手順	スクリーン								
2 公約発表（グループごとに公約をホワイトボードに）									
<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>									